## 奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018	年	6 月	24 日	記入者	久門たつお
調査者名	小倉	亀田	久門	鈴木		

調査対象先	波宝神社								
所在地	五條市西吉	野町夜中1	76	電話番号	-				
代表者 調査対応者	氏子総代の辰己博宣さん								
対象文化財	彫刻	県指定	: 件	国宝:	件	重文:	件		
	建造物	県指定	1 件 1 棟	国宝:	件 棟	····· 重文:	件 棟		
		•	地震対	_		-			
①対策の現況	〇 A: 実施済		0	B:一部実施	済	● C:未実	施		
	対策の経緯、 内容								
② ①の回答が A、Bの場合	今後の予定								
	要望			184	I = : '77 A	18 Tulker			
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由		□対策の必要が			が足りない	718+49-		
			☑ 震度7も予想と考えている	されているの が、県教委と	で、心配して は話が進ん	でいない。)	の対策が必要		
	今後の予定		本殿は江戸前期の寛文12年(1672)建造。一間社春日造・檜皮葺で、珍しい連棟社殿形式。右側社殿の蛙股が今春の強風で飛んでしまったので、県教委と協議し修復を検討している。						
	要望		神功皇后を祀る左側社殿、住吉大神を祀る右側社殿とも檜皮葺の葺き替え時期は10年後ぐらいと考えている。それに合わせて地震対策もできれば実施してもらいたい。						
			防火菜	対策					
①対策の現況	• A:	実施済	0	B:一部実施	済	○ C:未実	施		
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		本殿、割拝殿などに火災感知機、割拝殿に火災報知機を設置しており、緊急時は社務所の制御盤を通じて五條消防署と氏子役員携帯に連絡が入るシステムになっている。要所に消火器も配備。						
	今後の予定		毎年年末に境内で氏子役員や消防団員らで消防訓練を行っており、これからも継続していく。						
	要望		特にない。						
③ ①の回答が Cの場合	実施していない理由		□ 対策の必要	がない	□資金	が足りない			
			□ その他(			)			
	今後の予定								
	要望								

調査対象先

波宝神社

## 獣害・白アリ等の対策 ①獣害等被害 A: 経験あり B:経験なし 本殿に白アリの被害があるものの現在は小康状態で、今後も警戒し ② ①の回答が どのような たい。境内の貴賓殿(旧神宮寺本殿)でかつてイタチらしい動物が棲 Aの場合 被害か みついたこともあったが、侵入防止の板塀を設けた。 今後の予定、 ③今後 特にない。 要望 県指定の波宝神社本殿。春日造の連棟社殿形式 本殿正面障壁の日食の絵。地名の夜中とも関係

蛙股が飛んだ右側社殿(右)と無事の左側社殿(左)





割拝殿などに設置の消火器とホース格納庫



【調査票記入者(久門たつお)の感想】



神社は地域住民の心の拠り所でもあるが、波宝神社の氏子総代さんも予想される南海トラフ地震で本殿などに被害が及ぶのを憂慮されていた。県教委はこうした不安に少しでも対応すべきだろう。防火対策は万全と思われる。